

夏祭りで暑気払い

今年の夏は暑い日が続きましたが、各店とも工夫をこらした夏祭りレクリエーションで暑さを乗り切りました。

デイサービス八重桜 本店

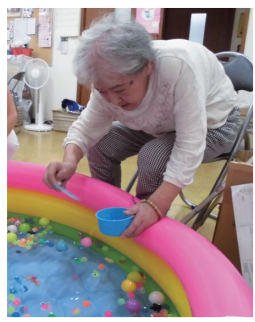
毎年恒例の夏祭り、本店では八月二十二日に行いました。午前は利用者様にはカラオケや、金魚すくいなど昔懐かしいゲームで楽しんでいただき、職員も浴衣姿になってお祭り気分を盛り上げました。午後には、日常過ごしているテイルームは、椅子や机は片付けられてご覧の通り広場となり、中央には檜が据えられて、すっかり盆踊り会場に様変わりです。ボランティアに創作盆踊りやまの会の方々に来ていただき、音頭に合わせて盆踊りを楽しんでいただきました。



職員は浴衣姿で



テイルームで盆踊り



金魚すくい



民謡愛好会の皆様の熱演

八月二十二日には、民謡愛好会の方々がお越しくださいました。三味線・尺八・締太鼓の伴奏、秋の気配を感じる落ち着いた雰囲気曲や心弾むような曲を演奏していただきました。利用者様も一緒に口ずさんだり手拍子を打ったりと、それぞれに楽しめる様子が見られ、心地よい時間を過ごしていただけたようです。

施設長／綾部 俊治

自立支援介護の取り組み

歩行力のリハビリ ② 下肢筋力強化

手すりを利用した下肢筋力強化運動を機能訓練指導員・柔道整復師により実施しています。小グループに分かれているので、お互い刺激あつて集中力がアップし、歩行時の安定感に効果が上がっています。また、五〇メートル程の廊下を歩いてもらいスムーズな足の運びとリズムを繰り返し体得していただいています。



デイサービス八重桜 朱雀

朱雀店では毎週第二水曜日は散髪の日です。利用者様も楽しみにされているようで、毎回長蛇の列が：利用日を変更されて来所される方もいるほどの人気です。

また、月に一度体重測定をして利用者様の健康管理に役立てております。車椅子の方もそのまま測れて楽々です。

八月二十三日に、恒例の夏祭りを開催しました。射的やヨーヨー釣りの出店をし、職員も浴衣姿でお世話をしました。その後は夏の風物誌のスイカ割り：これがなかなか割れない(笑)。周りから「もっと右！」「前、前！」と声をかけられても、目隠しをされていては狙いも定まらず、棒を振りおろすたびに歓声が上がります。最後のお楽しみはビンゴ大会！この日はおやつも特別、アイスを召し上がっていただきました。

施設長／荒木 佑輔



ハラハラドキドキのスイカ割り



みんなで金魚すくい



風船つり



車椅子のまま計れる体重計



楽しみの散髪の日



デイサービス八重桜 押熊

八月九日は、皆さんが楽しみにされていた夏祭り、職員はハッピー姿です。昼食は、焼きそば、どて焼を作ってお祭りの雰囲気味わって頂きました。午後からの抽選会も、何が当たるかわくわくして大変盛り上がり、皆さんにはそれぞれ景品を持って帰って頂きました。

普段から、いろいろなゲームを取り入れて体力・知力の維持に役立てています。絵合わせは記憶力が頼りです。今出てきたのと同じ絵があつた場所にあつたはずと、集中して記憶をたぐり寄せます。絵が合った時には「やったあ!!」と、利用者様は大変喜んでおられました。

月に一度の散髪も人気です。理容師さんに出張してもらっていますが、男性の利用者様も楽しみにしておられ、皆さんさっぱり喜んで頂いています。

施設長／西 裕



この日の昼食は屋台で舌鼓



この数字の下に絵が潜んでいます



男性も散髪でさっぱり

老々介護

「老々介護」とは、介護される人も介護する人も共に高齢者であるということ。

今では「老々介護」の状態にある世帯は要介護世帯の内六割を超えています。このような世帯が増えるのは少子化、核家族化が進んできた以上、自明なことだといえます。単身の要介護者の問題も含めて政府は、地域包括ケアシステムで解決しようとしていますが、単身要介護者が重度化したり、介護疲れで介護者が共倒れになった場合には在宅での生活は不可能になるでしょう。共倒れ防止のためには在宅で介護保険サービスを有効に利用する方法もありますが、それだけでは介護者の人生が半ば犠牲なる恐れが強くなります。

桜の広場

このような施設は非常に高額な入居金の要る高級な介護付き有料老人ホームとして既にありました。しかし一般庶民にはとても手の届くようなものはありません。しかし、居室面積の見直しや無駄に豪華な設備や装飾の排除、更に食事も委託も自炊も可とするなど、工夫次第でリーズナブルな価格帯は実現可能になるでしょう。

その解決策は、一言でいえば介護・生活支援があり、自立入居者同士の交流を楽しめる共用部分の充実したソーシャルアパートメント（シェアハウス）です。介護は日々プロのサポートを受け、介護者は精神的な支えを役割とする。そして自分自身の残された人生を十分に生きる、そういう生活が可能になるのです。

西勝康

俳句教室発表句

（敬称を略します）
長谷川 美紀（俳句教室担当）

夕涼み 螢とびかう 川のどて

上 總 千江子
螢のお尻が「ピカ！ピカ！」と光って綺麗！
すくくロマンチックですね。

盆踊り 若い日思い 輪に入る

伊 藤 みよ子
たまには子供に戻ってみんなと一緒に遊びましょう！
歳ことは忘れてください。
気持ちはいつでも若いです。

スイカ割り 美味しく食べて タネ飛ばし

長谷川 勝 造
みんなですイカのタネ飛ばす楽しそうな
雰囲気伝わってきます。

蝉の声 毎日鳴くよ 目覚めました

村田 美代
よい目覚まし時計ですね、たった七日の命
今日も朝から大活躍です。

夏祭り 金魚すくいに ポイ負けた

吉村 明子
すぐに穴空いてしまいますよね、
コッスを掴んで沢山ゲットしたいですね。

「秋茄子を嫁に食わずな」は 迷信か

堤 キヨ子
二つの意味があるそうですが良い意味で
とらえたいですね。

秋の夜は ヒグラシの声 鳴きやむか

志 甫 孝
ヒグラシは、土の中で六、七年地上で「一、二週間の命ですね。元気に鳴いているうちは「うるさいな！」と思ったりしますが、鳴かなくなると少し寂しく感じますね。

秋空に 夏を惜しむか 赤とんぼ

宅 瀬 正雄
まだ暑い日が続きますが、ちらほらと赤トンボも見る様になって来ましたね。

夏休み 小遣い 欲しくて帰省する

職 員
その気持ち、よくわかります。
そしていずれは逆の立場に。

馳せ走る

食の匠

のひとりごと

西勝康

「三つの味」

日本の食材には収穫の時期を追って分類した「走りもの」「盛りもの」「名残りもの」三つの味があります。

「盛りもの」とは言うに及ばずその食材が市場に一番出盛る旬のものであり、安くて美味しく家庭の食卓に登場する機会が多くなるものです。

一方「走りもの」はその季節に初めて収穫されて、市場に回り始めたものことで、希少な価値を縁起がいいとか、先取りすることを粋とする文化があつて少々高くて料理店などでは喜ばれます。

また、「名残りもの」とは、過ぎ行く季節を惜しみながら「また来シーズンも美味しく食べられますように」という願いを込めていただきます。

このように一つの食材にも三段階の時節があつて、まるで青・壮・老と人生を見るようです。



笑える迷言

「先を読め！」言った先輩 リストアップに
・草食と言われる息子 金を食つ
・なんだっけ？ 取りに来たのに また戻る

出典 blogs.yahoo.co.jp

社員投稿欄

「天職」

山田 裕美子



きっかけは高校生の時でした。偶然道端で出会った迷子のおじいさんを家へ送って帰る途中、間に合わず失禁させてしまいました。その時に、もっと何か手伝えることがあったのではないかと思いました。

そして、八重桜へ入社。はじめは人見知りのためなかなか利用者様と話せず、声が小さい、聞こえないといわれ続けましたが段々と慣れていきました。利用者様と接していく間にその方の人生、経験、考え方、生きかたを知りそれぞれの思い、気持ちなどを知りました。「どうしたらいいのか」一人ひとりによって違うケア、サービス、接し方に迷い毎日が勉強中です。ほかの職員とのやり方、接し方を学び経験を積み、私にしか出来ないケア、接し方を学んで経験を積み、私にしか出来ないケア、接し方を学んでいきたいと思います。

「いつもありがとうございます。」「毎日が楽しいです。」と、全ての利用者様にも八重桜でよかったと感じてもらえるように、これからも一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

入居者募集 開始!

住宅型有料老人ホームファミリーモア八重桜平城館 37室 ニューコンセプト

- ・日常生活の中に自立支援メカニズムを
- ・豊かな空間をリーズナブルプライスで

所得段階対応型 軽料金制

八九、〇〇〇～二九、〇〇〇円 (家賃・管理共益費・食費含む)

充実の空間

- ・くつろぎのウッドデッキ
- ・小径のある散歩庭園
- ・娯楽のカラオケルーム
- ・憩いの広いリビングルーム



庭をめぐる話 2

平城京左京三条一坊宮跡庭園

白井 喜法

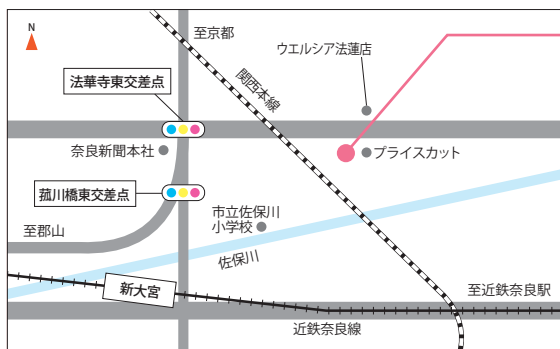
この宮跡庭園は、奈良時代中期(七五〇)から平安時代初期まで存続していたが、初めに造られた状態に修復されている。そう、復元された庭ではなく、修復された庭である。つまり、発掘され出土した遺構をそのまま修復して屋外展示しているのだ。以前にとりあげた東院庭園の場合は発掘調査した遺構を埋め戻してから、その真上に復元している。この違いは、オリジナルとレプリカの違いだ。宮跡庭園の価値はここにある。奈良時代中期の地層から出土した庭園遺構



をそのまま修復し、そこに水を入れて当時の姿を現出させている。

庭として注目すべき点は水面の有様だ。宮跡庭園の水は流れている。佐保川から引き入れられた水は、園地の北から南に向かって蛇行しつつ池と呼べるほどの広さになり、それが細まって流れ出す。現代では水脈が変わったためにポンプによって水を循環させているそうだが、要するに流れなのだ。下流の半分くらいのところは大きな岬が突きだして、その周囲を流れが巡る。池にして中島にするのではなく流れている。

現在は修理のために水が抜かれて大屋根に覆われているが、そのおかげで工事柵のすき間から、流れの底の敷石の様子を垣間見ることが出来る。東院庭園と宮跡庭園、ほぼ同時代に営まれた二つの庭園は、日本の庭園文化が開花し始めた頃の姿を偲ばせてくれる。



公的介護保険指定事業 居宅介護支援事業所 八重桜

〒630-8113 奈良市法蓮町410番地の2 TEL:0742-25-5045 FAX:0742-25-0003

公的介護保険指定事業

デイサービス八重桜 (一般通所介護)

デイハウス八重桜 (認知症対応型通所介護)

デイ&ナイト訪問サービス八重桜 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

自主事業

ステイケア八重桜 (短期宿泊所)

〒630-8113 奈良市法蓮町410番地の2 TEL:0742-20-7205 FAX:0742-20-7201



サービス付き高齢者向け住宅 ファミリーモア八重桜 朱雀館
デイサービス八重桜 朱雀

〒631-0806
奈良市朱雀1-3-15
TEL:0742-72-1131
FAX:0742-72-1130



住宅型有料老人ホーム ファミリーモア八重桜 押熊館
デイサービス八重桜 押熊

〒631-0011
奈良市押熊町560番地
TEL:0742-40-3300
FAX:0742-40-3301